

# **国産小麦供給体制整備緊急対策事業**

## **説明資料**

---

**令和4年5月**

**農産局穀物課**

# 国産小麦供給体制整備緊急対策事業

【令和4年度一般予備費 2,475百万円】

## <対策のポイント>

国際的に穀物の供給懸念が生じ価格が高騰する中、輸入依存度が高い小麦の安定供給体制を緊急的に強化するため、生産面において**作付けの団地化、営農技術・機械の導入等を支援**するとともに、流通面において**一時保管等の安定供給体制の構築を支援**します。

## <政策目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加（76万トン→108万トン）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 国産小麦産地生産性向上事業

1,233百万円

国産小麦等の安定供給体制を緊急的に強化するため、**作付けの団地化**や**営農技術・機械の導入等**と併せて**作付拡大**を支援することにより、水田における麦生産をソフト・ハードの両面から推進します。

### 1. 国産小麦産地生産性向上事業

作付けの団地化の推進

営農技術・機械の導入等の支援



団地化推進に向けた話し合い等の必要経費を支援

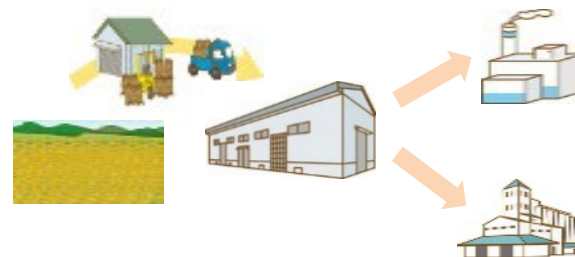
- ・ 営農技術の導入（最大15,000円/10a）
- ・ 機械の導入（1/2以内）
- と併せて行う作付拡大を支援（10,000円/10a）

### 2. 国産小麦供給円滑化事業

1,241百万円

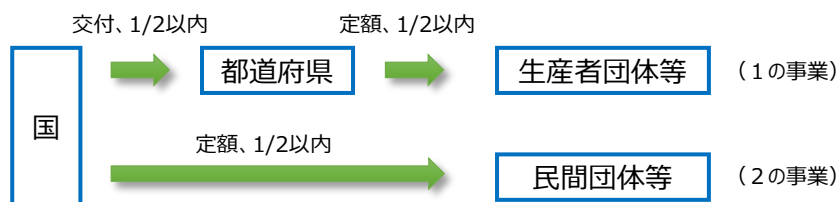
国産小麦等の供給を円滑化するため、実需者における国産小麦等の**一時保管等の支援**を通じた安定供給体制の構築を支援します。

### 2. 国産小麦供給円滑化事業



- ・ 実需者における国産小麦等の一時保管等の支援

## <事業の流れ>



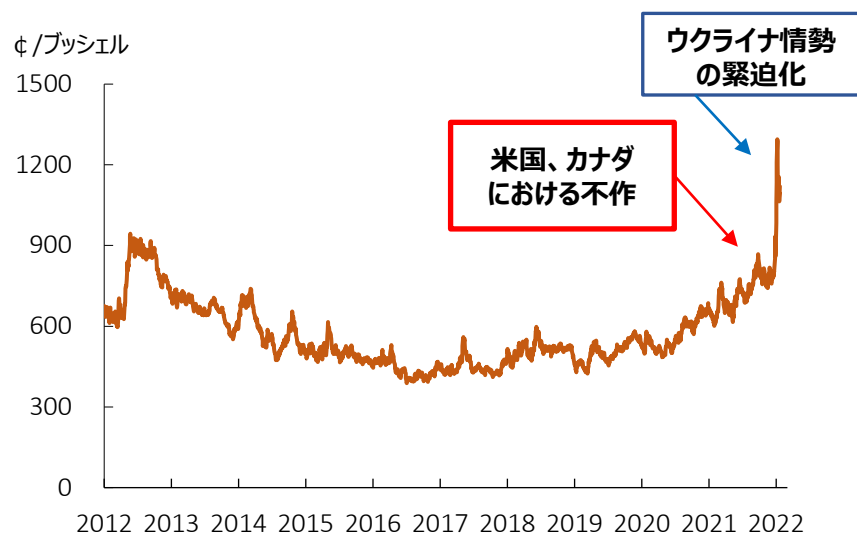
【お問い合わせ先】 (1の事業) 農産局穀物課 (03-6744-2108)

(2の事業) 農産局貿易業務課 (03-6744-9531)

# 国産小麦供給体制整備緊急対策事業

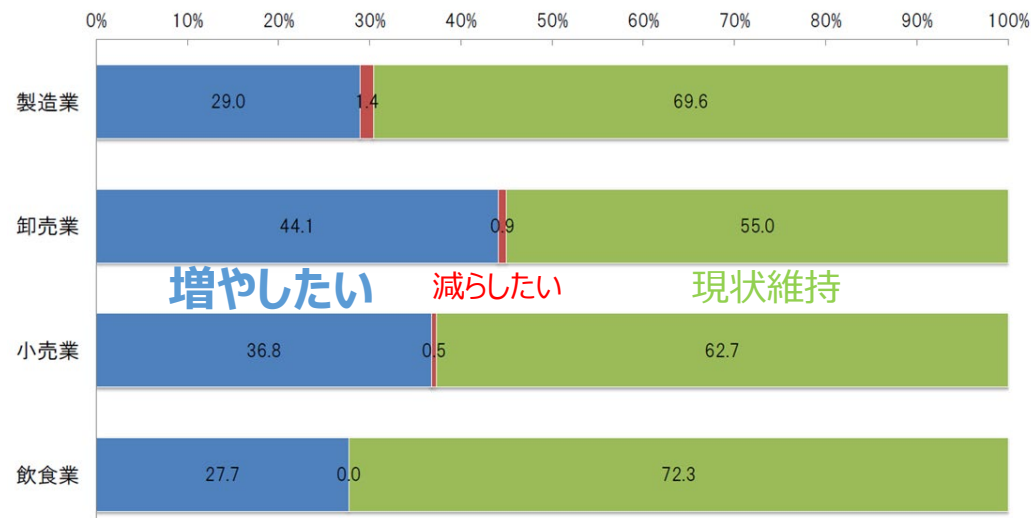
- 小麦の国際価格は、北米産の不作等に加えて、ロシアのウクライナ侵攻により、両国からの小麦等の供給懸念が高まったことで、高い水準で不安定な動きとなっている。このような中、食品関連企業において、原料を外国産から国産に切り替える機運が高まっている。

## ○ 小麦の国際価格の推移



注：1ブッシェル=小麦：27.2 kg

## ○ コロナ下における国内産地との取引に関する食品関係企業への意向調査



資料：日本政策金融公庫「食品産業動向調査（令和2年7月）～新型コロナウイルス感染症拡大の影響、国内産地との取引について～」(2020年9月)

# 国産小麦の安定供給体制を緊急的に整備

# 国産小麦産地生産性向上事業（対象作物、採択要件）

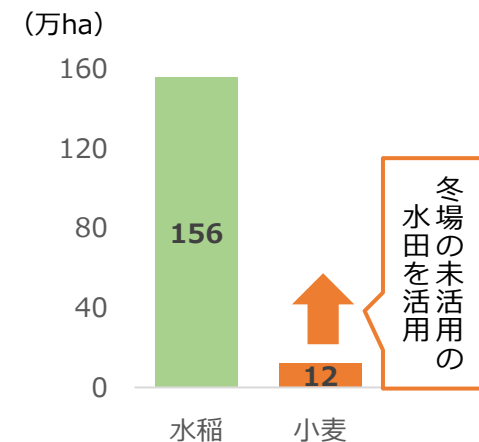
- 国産小麦産地生産性向上事業では、こうした情勢の急変を踏まえ、国産小麦等の安定供給体制を緊急的に強化するため、**水田における麦生産の高位安定化**に向けた取組をソフト・ハードの両面から支援。
- 「緊急的な措置」という事業の趣旨を踏まえ、**既存の事業と比較して、採択要件を簡略化**。

## 対象作物

- 水田に作付ける令和5年産**小麦**及び**大麦**

- ・ 麦の生産拡大を推し進めるには、活用されていない冬場の水田において、**水田裏作として、新たな麦の作付けを支援**することが有効。
- ・ 大麦は、小麦の代替使用ができることから、支援対象に含める。

○ 水田における小麦の作付面積（R3）



## 採択要件

- **作付けの団地化**に向けた取組を行うこと。
- 団地化率の向上、単収向上、作付面積拡大等の**成果目標を設定**すること。

<ポイント①> 緊急的な措置のため、**「麦・大豆産地生産性向上計画」の作成は求めません。**

# 国産小麦産地生産性向上事業（支援内容）

- 国産小麦産地生産性向上事業では、麦栽培の生産性を向上させるための取組を支援するとともに、営農技術や機械の導入を行った場合に、**麦の作付拡大面積に応じて10,000円/10aを助成**。
- 生産拡大と技術導入を同時に行うことで収益性を高め、**高度な麦生産の定着を図る**。

## 支援内容

### ○ 地域農業再生協議会や農業者団体への支援

- 1 団地化に向けた話し合い等の支援（定額）
- 2 **営農技術導入支援**（最大15,000円/10a）・・・
- 3 **機械・施設の導入支援**（1/2以内）
- 4 **生産拡大支援**（10,000円/10a）  
※ 2 or 3 に取り組む場合に限ります。

**<ポイント②> 麦の生産拡大面積に応じて10,000円/10aを助成**します。

### ○ 都道府県、市町村への支援

麦の生産拡大の推進に必要な実需者との意見交換会の開催、技術指導マニュアルの作成等を支援。（1/2以内）

### ○ 作付けの団地化に取り組むことに加えて、以下のメニューに取り組んだ場合に最大15,000円/10a支援（複数選択可）

- (1) **湿害対策技術**（2,000円/10a）
- (2) **高度湿害対策技術**（3,000円/10a）
- (3) **効率的播種技術**（5,000円/10a）
- (4) **カットブレイカーによる心土破碎等の先進技術**（10,000円/10a）
- (5) **土壌診断**（5,000円/10a）
- (6) **品種・地域に応じた最適な追肥**（3,000円/10a）
- (7) **需要に応じた新品種の導入**（7,500円/10a）
- (8) **畑地化に向けた新規輪作体系の確立**（7,500円/10a）
- (9) **土壌改良材等を活用した土づくりの推進**（3,000円/10a）
- (10) **化学肥料の低減**（1,000円/10a）
- (11) **化学農薬の低減**（1,000円/10a）
- (12) **ドローンによる生産性の高度化・省力化**（5,000円/10a）
- (13) **畔抜き等のブロックローテーションに係る取組**（4,500円/10a）
- (14) **水田裏作麦の導入のための品種転換等**（3,500円/10a）
- (15) **地域特認技術**（上限15,000円/10a）

# 国産小麦産地生産性向上事業（営農技術の導入支援）

- 営農技術の導入支援では、作業や資材の掛かり増し経費の1/2に相当する額を支援。
- 地域の実情に応じて、**15の技術の中から生産性の向上に必要なものを組み合わせて導入**することで、**最大15,000円/10aの支援**が受けられる。

## ○ 湿害対策

- ・ 麦の単収や品質が安定しない主な原因は「湿害」。
- ・ 弾丸暗渠の施工、心土破碎、深耕などの**排水対策を組み合わせて実施**することで、更なる単収・品質の向上が見込まれる。



心土破碎

## ○ ドローンを用いた生産の高度化・省力化

- ・ 1 経営体への農地集積に伴い、農地が分散し、作業負担が増加。
- ・ ドローンを用いた農薬散布などにより、**効果的・効率的な作業が可能となり、作付面積の拡大や適期作業による生産性の向上が可能。**



ピンポイント  
農薬散布

## ○ 水田裏作麦の導入のための品種転換等による作付体系の確立

- ・ 水田で新たに麦を作付ける場合、麦の作期を考慮した作付体系の確立が必要。
- ・ 新たに麦を導入するために**表作の品種転換**を行う場合、その取組を支援。



生育  
センシング

## ○ 地域特認技術

- ・ 地域によっては適切な時期の追肥や病害虫防除等により多収が見込まれる。
- ・ **地域特有の課題解決**を図る取組を都道府県が設定でき、地域の実情に応じた効率的な生産性の高度化を図る。

## <ポイント③> **新規の技術導入**の場合は**優先採択**。

※ 麦の経営面積（交付対象農地）の半分以上で新たに営農技術を導入する場合、麦の全経営面積を支援対象とします。

# 国産小麦産地生産性向上事業（採択基準）

- 本事業に取り組む場合は、団地化率の向上、作付面積の拡大、単収の向上などの**成果目標を設定し、採択ポイントの合計が15ポイント以上**となるように事業実施計画を作成。

区分	成果目標	成果目標の基準・ポイント	
		下限	ポイント
<b>A 団地化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団地化率の向上</li> <li>・ 団地化面積の向上</li> </ul> } 1つ選択	1%以上 1%以上	1～10P
<b>B 生産拡大</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>作付面積の拡大</b></li> <li>・ <b>単収の増加</b></li> </ul> } 1つ選択	2%以上 4%以上	<b>4～20P</b>
<b>C 加算</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需要に応じた品種への転換</li> <li>・ 労働時間の削減</li> <li>・ 圃場の畑地化を目指した事業計画を策定した場合</li> <li>・ 団地化率が80%以上の場合</li> <li>・ 食品製造業者からの要望に応えるための栽培管理や品質分析等を行う場合</li> <li>・ <b>新たに営農技術の導入に取り組む場合</b></li> </ul>	4%以上 7%以上 - - - -	1～5P 1～5P 10P 5P 5P <b>20P</b>

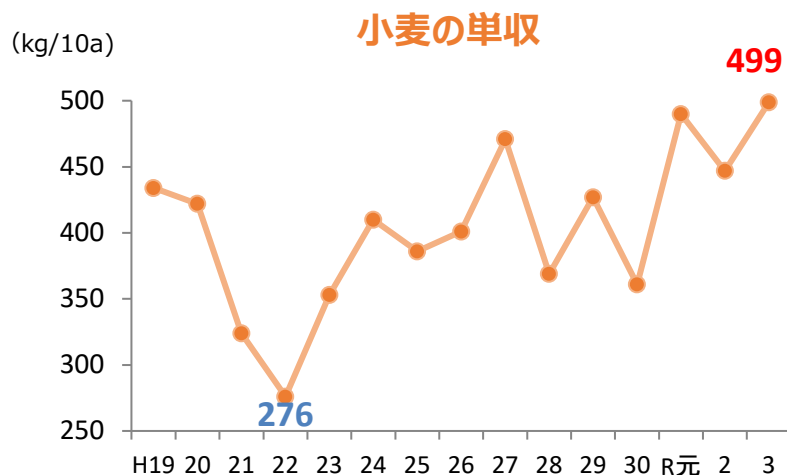
採択ポイント（A+B+C） = 最大80P



# 国産小麦供給円滑化事業（背景、構成）

- 小麦の単収は年産変動が大きく、**実需者からは安定供給が強く求められている**。国産への原料の切り替えを進めていくためには、小麦の安定供給体制を整備する必要がある。
- このため、国産小麦供給円滑化事業では、**実需者による国産小麦の一時保管や保管施設の整備**を支援。

## 背景



年産変動が  
非常に大きい

国産麦の利用拡大に向けては、生産面の支援だけでなく、**供給を安定化するための取組を支援**する必要がある。

## 事業の構成

### 国産小麦供給円滑化事業

国産小麦供給円滑化対策

… 実需者における国産麦の**一時保管経費**を支援

国産小麦安定供給強化対策

… 国産麦の安定供給に向けた**保管施設の整備**を支援



# 国産小麦供給円滑化対策（支援対象、支援内容、補助単価）

- 国産小麦供給円滑化対策では、国際価格高騰の影響を緩和しつつ、輸入依存度を引き下げる観点から、**実需者等が産地から小麦等を引き取る際の運搬費、保管経費等を支援**することにより、安定供給体制の構築を図る。

## 支援対象

- 実需者等が令和4年4月1日以降に購入した令和3年産民間流通麦のうち、都道府県ごとに設定した一定の幅を超えた小麦等であること。
- 実需者等が国産小麦のみを原料としている需要者（国産小麦の需要量が1千トン未満の者に限る）又は固有用途需要者（国産小麦の需要量が1千トン未満の者に限る）である場合には、令和3年産民間流通麦の契約数量の範囲内であって、令和4年4月1日以降に購入した小麦等であること。

## 支援内容

- 対象麦の数量を上限として、小麦等の倉庫での保管料。
- 産地倉庫から実需者等の倉庫等への運搬費。
- 産地倉庫からの運搬に係る荷役料。

## 補助単価・補助率

- 保管料：定額（1/2相当：107円（1期）/ト）
- 運搬費・荷役料：1/2以内

<注意点> 自社倉庫で保管した保管料及び令和4年9月30日（北海道産麦については、令和4年10月31日）までに産地から運搬を完了できなかった小麦等の運搬費と荷役料は支援の対象外となりますので、ご注意ください。

# 国産小麦安定供給強化対策（対象作物、要件、支援内容）

- 国産小麦安定供給強化対策では、国際価格高騰の影響を緩和しつつ、輸入依存度を引き下げる観点から、**豊凶変動に対応し、凶作時であっても安定して供給できる体制づくりを支援する。**

## 対象作物

- 国産の**小麦及び大麦**

## 採択要件

- **安定供給計画**を含む事業実施計画を作成すること。
- 受益地における**国産麦の収穫量、集荷数量を増大させ、一定数量を保管**すること。

## 支援内容

- 農協等の農業関係機関や実需者を含むコンソーシアムが行う保管施設の新設・改修を支援。
- 補助対象経費の1/2を支援（補助金の上限額は3億円）。

**<ポイント④>** 保管施設の整備と一体的に行う**処理加工施設※**の整備も支援対象となります。

※ 製粉機、製パン機、製麺機、冷凍機、乾燥機等が処理加工施設の対象となります。

# 国産小麦安定供給強化対策（採択基準）

- 本事業に取り組む場合は、生産拡大、安定供給体制の確立、保管効率などの**成果目標を設定し、採択ポイントの合計が15ポイント以上**となるように事業実施計画を作成。

区分	成果目標	採択基準・ポイント	
① 生産拡大	・ 整備する保管施設に出荷する農業者が生産する <b>麦の収穫量の増加割合</b>	10%以上	10
		8%以上	8
		6%以上	6
		4%以上	4
		2%以上	2
		2%未満	1
② 安定供給体制の確立	・ 取扱数量に占める安定供給を目的とした数量割合	10%以上	10
		8%以上	8
		6%以上	6
		4%以上	4
		2%以上	2
		2%未満	不採択
③ 保管効率	・ 整備する保管施設の目標年度における保管量当たりの事業費 (事業費(円)／保管量( t ))	10万円未満	5
		10万円以上15万円未満	4
		15万円以上20万円未満	3
		20万円以上25万円未満	2
		25万円以上	1
④ 公益性	・ 安定供給計画に位置付ける実需者の数	50社以上	5
		30社以上	4
		20社以上	3
		10社以上	2
		10社未満	1

採択ポイント（①＋②＋③＋④）＝ 最大30P